

(概要版)

小学校におけるキャリア教育の推進に 向けての調査研究

ーキャリア発達《人間関係形成能力》と道徳の時間に視点を当ててー



長期研修員 田村 香世

研究の概要

本研究は、県内の公立小学校を対象とした実態調査を基礎資料として、小学校におけるキャリア教育推進と豊かな人間性の育成との関連性を探り、キャリア教育推進に向けての提案を行うことを目的とする。具体的には小学校におけるキャリア発達《人間関係形成能力》の児童の実態、教員の意識、キャリア教育に視点を当てた道徳の時間の状況を調査し、豊かな人間性の育成につながる小学校におけるキャリア教育推進の提言を行う。

研究の背景

社会情勢

- 就職・就業をめぐる環境の変化
- ニート・フリーターの増加
- 若者自身の資質等をめぐる課題
 - ・ 勤労観、職業観の未熟さ
 - ・ 社会人、職業人としての基礎的資質・能力が不足

学校教育(児童の実態)

将来の夢をもってますか？



「当てはまる」小学生68%、中学生43%
心身の成長に従って、幼い頃に描いた夢が空想的であったことに気付くものの、それに代わる夢を見いだせない。
「自分に気付き、未来を気付くキャリア教育」(国立教育政策研究所)

キャリア発達《人間関係形成能力》・キャリア教育に視点を当てた道徳の時間の調査の必要性

- 調査内容 (児童)人間関係形成能力の実態、道徳の時間に関する興味関心、将来の職業に関する考え等
(教員)キャリア教育推進・人間関係形成能力・道徳の時間に関する重要度・実現度等

学校教育(教育全体の流れや方向性)

教育基本法の改正 (H 18)

目標第二条「…職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うこと」

学校教育法の改正 (H 19)

義務教育の目標「職業について基礎的な知識と技能、勤労を重んずる態度及び個性に応じて将来の進路を選択する能力を養うこと」(第二十一条の十 新設項目)

群馬県教育振興計画 8つの基本施策

(3)個性や能力を伸ばし一人ひとりの夢をはぐくむ

- ・キャリア教育や魅力ある高校作りを通して、児童生徒の夢を育み、一人ひとりの夢の実現を支援

学校教育(道徳とキャリア教育)

道徳の目標

「学校の教育活動全体を通じて…自己の生き方についての考えを深め道徳的実践力を養う」

新設の内容項目

- 1.2年生「働くことよさを感じてみんなのために働く」
- 3.4年生「自分の特徴に気付きよいところを伸ばす」

キャリア発達4領域8能力				
領域	人間関係形成能力	情報活用能力	将来設計能力	意志決定能力
能力	自他の理解能力	情報活用・探索能力	役割把握・認識能力	選択能力
	コミュニケーション能力	職業理解能力	計画実行能力	課題解決能力
国立教育政策研究所生徒指導研究センター「児童生徒の職業観・勤労観を育む教育の推進について(調査研究報告書)」平成14年11月より引用				

調査の実施



- 調査対象校
群馬県内 36校
(群馬県内の公立小学校から標本抽出)
- 調査対象者
5年生児童 1289名
小学校担任教員 414名
- 調査の方法 アンケート調査
- 分析方法 単純集計、相関分析
クロス集計 (χ^2 検定)

キャリア教育に関する調査(担任を持たれている先生方用)

群馬県総合教育センターでは、今後の学校教育のあり方を検討するため、いくつかの調査研究を進めています。本調査は、今日的な教育課題の一つとして注目されている「キャリア教育」を推進するために行うものです。お答えいただいた内容につきましては、先生方や学校にご迷惑をおかけすることはありません。調査目的以外での使用はしません。なお、結果は研究報告書にまとめ公開させていただきます。ご多用中、大変恐縮ではございますが、ご協力の程、よろしくお申し上げます。

選択式の回答は、該当箇所のマーク0を塗りつぶしてご回答ください。
 : 空白マーク : 正しい塗りつぶし : 不十分なりつぶし

記述式の回答は、回答欄からはみ出さないように記入してください。
 この用紙は機械で処理します。回答欄以外に書き込みをしたり、用紙を汚したり、折り返しを付たりしないように注意してください。

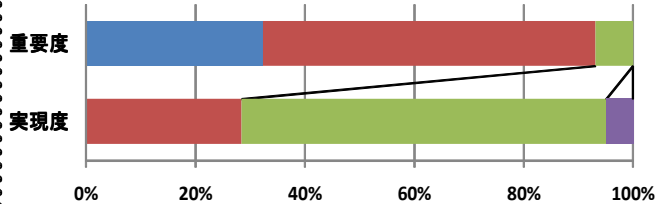
- (1) あなたの担当学年を教えてください
 1年生 2年生 3年生 4年生 5年生 6年生
- (2) あなたの考えやクラスの児童の実態についてお伺いします。以下の各項目について、あなたは「(A)どのくらい重要だと思うか」と、「(B)実現できていると思うか」をお答えください。
 ((A)と(B)の両方の該当する箇所(各項目1カ所ずつ)を塗りつぶしてください)

	(A) 重要度				(B) 実現度			
	大変重要である	やや重要である	あまり重要でない	重要でない	よく出ている	大体出ている	あまり出ている	出していない
1 小学校でキャリア教育を進めていくこと	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2 豊かな人間性育成のためキャリア教育を進めること	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3 (以下、設問16までクラスの児童についてお答えください) 児童が児童自身のよいところを見つけること	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

調査1 小学校教員のキャリア教育推進の重要度 実現度

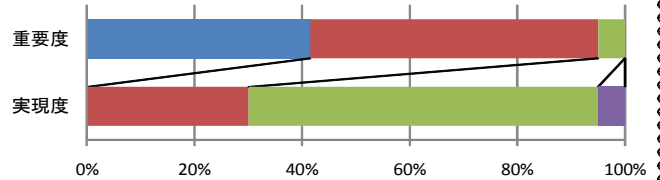
(1) 小学校でキャリア教育を進めること

- 大変重要である・よくできている
- やや重要である・大体出来ている
- あまり重要でない・あまり出来ていない
- 重要でない・出来てない



(2) 豊かな人間性のためキャリア教育を進めること

- 大変重要である・よくできている
- やや重要である・大体出来ている
- あまり重要でない・あまり出来ていない
- 重要でない・出来てない

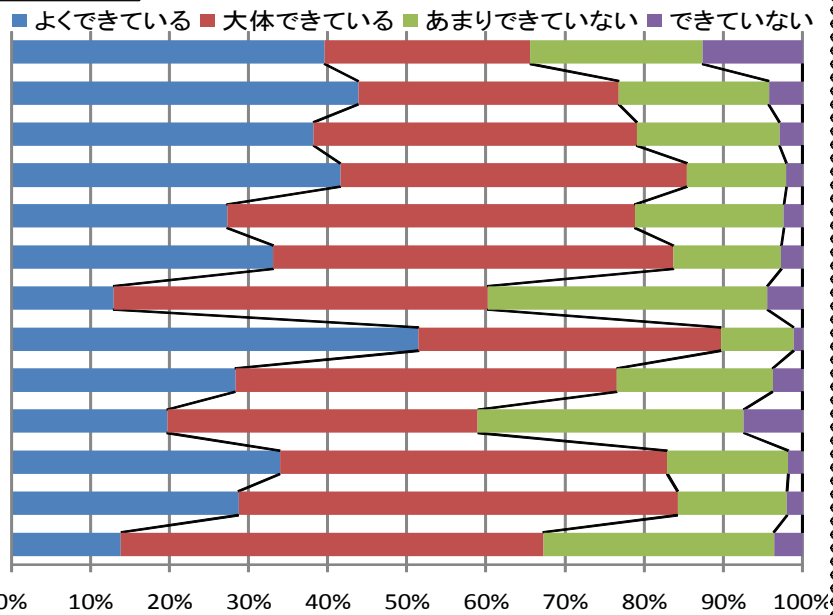


結果 キャリア教育が重要であると意識している教員は多いが、実現度は十分ではなく、何らかの手立てが必要である。

調査2 キャリア発達(人間関係形成能力)について

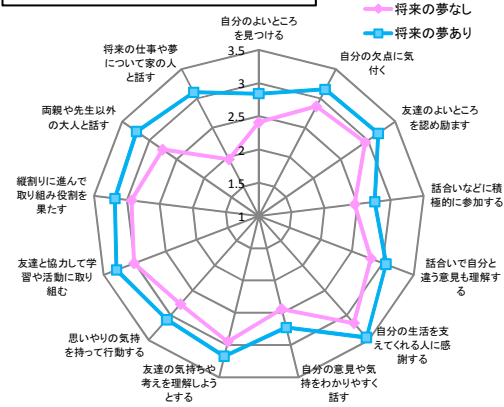
(3) 人間関係形成能力(児童)

- ▼ 将来の仕事や夢について家の人と話す
両親や先生以外の大人と話す
- ◎ 友達と協力して、学習や活動に取り組む
思いやりの気持ちを持って行動する
友達の気持ちや意見を理解する
- ▼ 自分の意見や気持ちを分かりやすく話す
- ◎ 自分の生活を支えている人に感謝する
話合いで自分と違う意見も理解する
- ▼ 話合いなどに積極的に参加する
友達のよいところを認め励ます
- ◎ 自分の欠点に気付く
自分のよいところを見つける



◎ 自己評価の高い項目 ▼ 自己評価の低い項目

(4)人間関係形成能力(児童)



児童全体の結果

- ・児童評価の低い項目・・・コミュニケーション能力
自分のよさに気付く
- ・児童評価の高い項目・・・他者理解

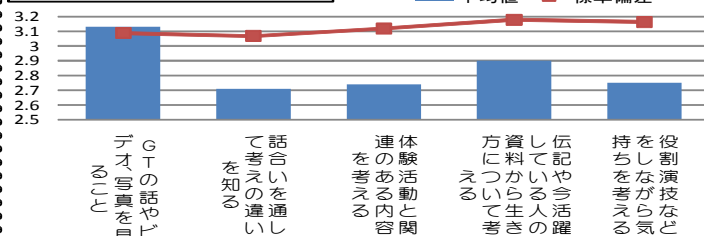
将来就きたい仕事や夢のある児童群とない群の比較

- ・すべての項目で将来就きたい仕事や夢のある群の平均点が高い。
- ・差が大きい項目「自分の将来の仕事や夢について家の人と話すこと」「自分のよいところを見つけること」「両親や先生以外の大人と話すこと」

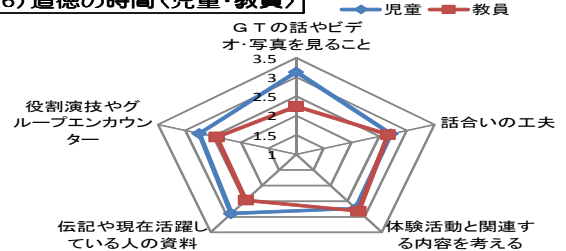
結果 児童の人間関係形成能力を高めるためには、コミュニケーション能力と自分のよさを見付ける指導が必要である。

調査 3 キャリア教育の視点を取り入れた道徳の時間について

(5)道徳の時間<児童>



(6)道徳の時間<児童・教員>



児童全体の結果

- ・児童は現実を意識できる教材(外部人材・ビデオ・写真等)や伝記や現在活躍している人の資料から生き方について考えることを好む。

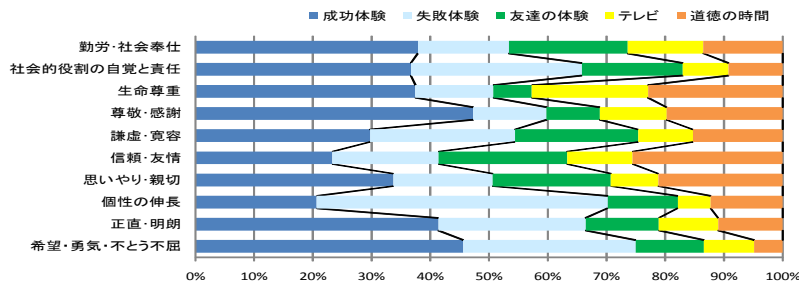
児童と教員の比較

- ・「ゲストティーチャー (GT) の話やビデオ・写真を見ること」で特に差が大きい。

結果 キャリア教育に視点を当てた道徳の時間では、現実を意識できる工夫(外部人材・ビデオ・写真等)や伝記や現在活躍している人を資料として扱い生き方について考えさせることを意識して行うことが有効である。

調査 4 道徳的価値について

(7)児童は何から道徳的価値を得ているか？



児童全体の結果

- ・成功体験から価値を学ぶ・・・35.4%
 - ・失敗体験から価値を学ぶ・・・23.4%
- 将来就きたい仕事や夢のある児童**
- ・成功体験から価値を学ぶことが多い
- 将来就きたい仕事や夢のない児童**
- ・友だちの体験やテレビから価値を学ぶことが多い。

(8) 将来就きたい仕事や夢の有無と体験活動

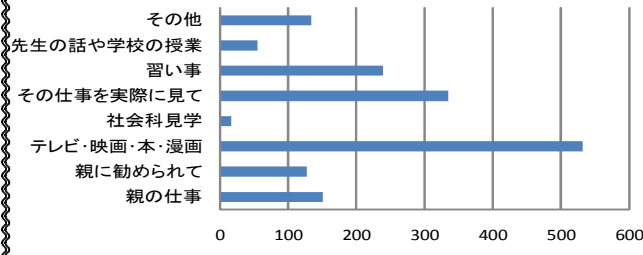
	成功体験	失敗体験	友達の体験	テレビ	道徳
将来就きたい仕事や夢がある児童	3918▲**	2509	1551▽**	1080▽**	1663
将来就きたい仕事や夢がない児童	584▽**	466	383▲**	252▲**	314

▲有意に多い ▽有意に少ない [χ²(4)=60.35, P<.01 Phi=0.068**] *P<.01 **P<.05

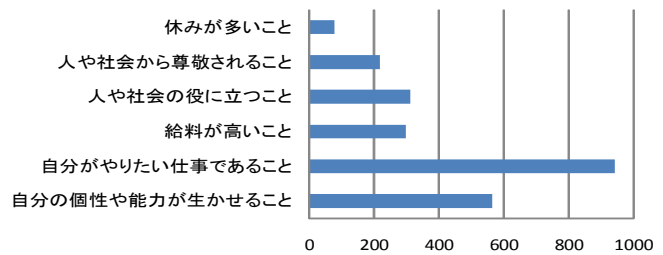
結果 道徳の時間と体験活動に関連付けて授業を行うことが有効である。

調査 5 職業選択に関する情報源や児童の考えについて

(9) 情報源(複数回答)



(10) 仕事を決める時の考え(複数回答)



- ・ 情報源はテレビ・映画・本・漫画が1番多いが「その仕事を実際に見て」も25%の児童が選択している。
- ・ 仕事を決める時の考えは「自分がやりたい仕事であること」「自分の個性や能力が生かせること」が多い。

結果 職業を実際に見ること、自分の希望・個性・能力を知ることが職業選択上重要である。

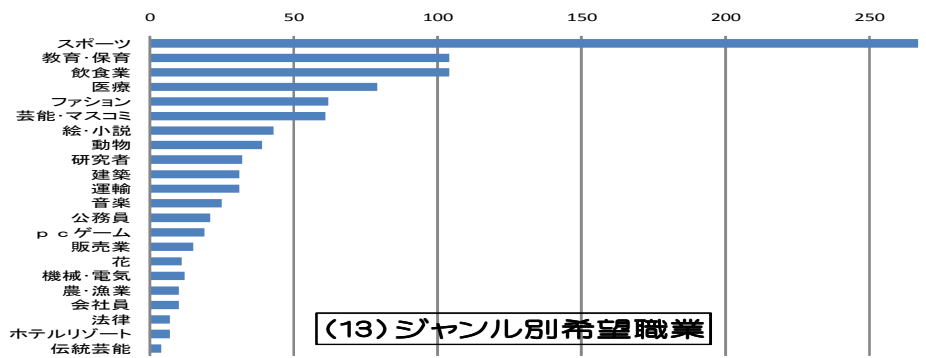
(11) 職業を決める上での考え	就きたい仕事や夢がある児童		就きたい仕事や夢のない児童		χ ² 値
	選択(人)	非選択(人)	選択(人)	非選択(人)	
自分の個性や能力が生かせること	508	567	84	116	
自分のやりたい仕事であること	861▲**	214▽**	123▽**	77▲**	33.1
給料が高いこと	233▽**	842▲**	81▲**	119▽**	32.2
人や社会の役に立つこと	277	798	45	155	
人や社会から尊敬されること	192	883	33	167	
休みが多いこと	52▽**	1023▲**	33▲**	167▽**	36.9

▲有意に多い ▽有意に少ない **P<.01 *P<.05

調査 6 自由記述欄 将来就きたい職業について

(12) 将来就きたい職業ベスト10

ベスト	職業	人数(人)	割合(%)
1	サッカー選手	87	8.8
2	野球選手	70	7
3	保育士・幼稚園	63	6.3
4	パティエ・ケーキ屋	52	5.2
5	芸能人	44	4.4
6	医師	33	3.3
7	研究者・学者	32	3.2
8	学校の先生	31	3.1
9	漫画家	26	2.6
	大工	26	2.6
11	デザイナー	24	2.4
	看護師	23	2.3



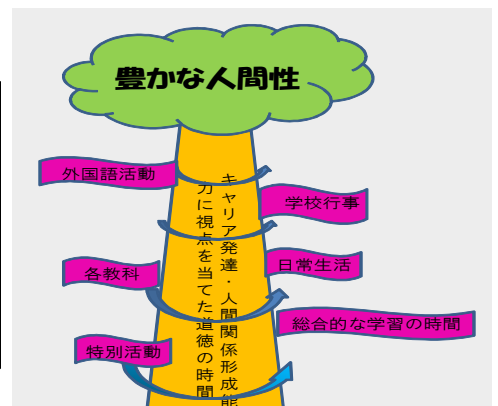
(13) ジャンル別希望職業

- ・ 回答欄には200種類もの多様な職業が記載され、中には「人を助け、人の命を守りたいから(就きたい職業: 消防士)」「星新一さんのような立派な短編小説家になりたい」など、その職業を目指した理由や、将来目指す姿を具体的に記述しているものもあった。

結果 児童の選択人数の上位の職業を全国調査と比較するとほぼ同じ傾向である。

提言 望ましい職業観 勤労観を身に付けるため

- **コミュニケーション能力**を特に指導していく。
- 様々な人とふれ合うことを通して **自分のよさ**に気付かせる。
- 道徳の時間では、**児童が現実を意識できる工夫**(外部人材、ビデオ、写真等)や伝記や現在活躍してる人を資料として扱い **生き方について考えさせること**を意識して行う。
- **自己の体験(特に成功体験)**を道徳的価値に結び付ける。



問い合わせ先 群馬県総合教育センター
 担当係：特別支援研究係 0270-26-9218 (直通)